

杉並高等学校 令和5年度 教科 情報 科目 社会と情報 年間授業計画

教 科： 情報 科 目： 社会と情報 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年1組～7組

教科担当者： (津田) (飯塚) (金田)

使用教科書： (東京書籍 社会と情報)

使用教材： (実教出版 パーフェクトガイド情報 Office2021対応)

	指導内容	科目 社会と情報の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章1節 私たちを取り巻く情報 情報とメディア 信頼できる情報と信頼できない情報 情報の見極め	- 情報の信頼性について評価する。 - メディアリテラシーについて理解する。 - 情報を批判的に捉えることを知る。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	6
5月	1章2節 アナログからデジタルへ 情報のデジタル表現 デジタルデータの特徴	- 情報のデジタル化についての基礎的な仕組みを理解する。 - デジタルデータの特徴を理解する。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	6
6月	3章1節 情報化の影響と課題 誰でも表現者・発信者の時代 情報社会の影 情報セキュリティ 情報モラル	- ソーシャルメディアや、表現活動、情報発信について理解する。 - 情報化が及ぼす影響を理解する。 - 情報社会における望ましい態度について学ぶ。 - 情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を理解する。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	8
7月	3章2節 法律と個人の責任 情報社会と著作権 個人情報の保護	- 知的財産を保護することの必要性和そのための法律、個人の責任を理解する。 - プライバシーと個人情報漏洩の対策について学ぶ。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	6
8月	1章3節 情報の表現と伝達			2
9月	情報の表現と伝達の仕組み 伝達や発表のための手段 効果的なプレゼンテーション	- 情報を相手に効果的に伝えるための手順や方法を理解する。 - 情報伝達のためのメディアの選択やカラーバリエーションについて理解する。 - プレゼンテーション用ソフトウェアを活用した情報発信の方法を習得する。 - プレゼンテーションの意味やその発表・評価方法について理解する。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	6
10月	2章1節 インターネットの利用 インターネットの仕組み WWWと電子メール 2章2節 ネットワークとコミュニケーション	- IPアドレスやパケット通信について理解する。 - インターネットや電子メールの仕組みを理解する。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	8
11月	メディアの発達 多様な情報発信 ネットコミュニケーションの特徴 4章1節 社会における情報システム 情報システムの種類 情報システムの発展と進歩	- メディアの発達について学ぶ。 - 情報通信ネットワークの特性を理解し、効果的なコミュニケーションの方法を習得する。 - 情報システムの種類や特徴を理解し、社会生活での役割と影響を理解する。 - 情報システムの発展と進歩について理解する。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	8
12月	情報化と社会の変化	今後の情報社会の変化について考察する	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	4
1月	4章2節 情報システムと人間 情報システムの信頼性 誰もが参加できる情報社会	- 望ましい情報化社会について考える。 - 情報社会の問題点とユニバーサルデザインについて学ぶ。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	6
2月	4章3節 情報社会と問題解決 解決のステップ	- 問題解決の手順と情報機器の活用例について理解する。 - 人間が利用しやすい情報システムのあり方を考える。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	6
3月	1年間のまとめ	1年間のまとめを行う。	評価の観点：情報社会に参画する態度、問題意識、知識、理解、表現、多角的視点 評価の方法：定期考査、提出物、授業への取り組み、態度などを総合的に評価する	4